

工団連「助成事業」の積極的な活用で 会員団体・企業の更なる活性化を！

現在、東京の産業、そしてそれらを支える我々中小企業を取り巻く環境は、かつてないほど激動の中にあります。足元では、中東情勢が深刻さを増し、原油価格高騰と円安進行によるコスト高、そして人件費高騰と深刻な人手不足などの課題が山積しており、これらは個々の企業の努力だけでは克服が困難な「荒波」と言えます。このような状況においてこそ、会員団体・企業の結束が重要となっております。

東京工業団体連合会（以下、工団連）が果たすべき役割はますます重要になっていきます。工団連では、東京都や都議会からの力強い支援のもと、会員団体及び会員企業の皆様が抱える諸課題の解決を支援するために、多角的な事業を展開しています。本号の第1面では、皆様の経営基盤を盤石にし、さらなる飛躍を支援するための「3つの助成事業」をお伝えします。

工団連では、会員団体・企業の協力のもと「ものづくり基盤技術強化支援事業」「専門家派遣事業」「依頼試験等助成事業」の3事業を推進してきました。これらの事業は、今こそ活用を一步進める好機となっております。

1. 「ものづくり基盤技術強化支援事業」

本事業は、工団連に加盟する地域の工業・産業団体が、自ら企画・実施する事業を支援するものです。スタートから14年目を迎え、より利用しやすい制度へと進化しています。

支援の目的と仕組み：厳しい経営環境に対応するため、団体が必要な基盤技術を強化する取り組みに対し、工団連が費用の3分の2（1件あたり上限360万円）を補助します。残りの3分の1について自治体の助成が得られる場合は、併用も可能です。

具体的な活用シーン：(事例1) 展示会・販路開拓：団体主催の展示会や、自治体・他団体主催の見本市への共同出展を支援します。出展料やPR動画、販促物の作成費用が対象です。

(事例2) 視察研修：先端施設や、地方にある優良企業の拠点視察を通じて、意識改革や技術向上を図ります。バス借上げ費、有料道路代、視察先講師謝礼、宿泊費の一部などが対象です。

(事例3) 研修会・講演会：注目企業の経営者による講演や、最新技術の伝承講座などを支援します。会場借上げ費や講師謝金が対象です。

(事例4) 情報発信：団体のホームページの新規制作

や、紹介動画の制作による情報発信力強化も対象となります。

2. 「専門家派遣事業」

「経営の相談をしたいが、誰に相談すればよいか分からない」「現場の技術的な課題を解決したい」などという会員企業のニーズに対し、工団連登録の174名(令和8年4月時点)の登録専門家を無償で派遣する事業です。

事業のメリット：中小企業診断士、技術士、弁理士、税理士、公認会計士など、公的資格を持つ経験豊富なエキスパートが、経営や技術の課題解決を直接サポートします。利用企業からは「すぐに役立った」「派遣回数を増やしてほしい」と高い評価を得ています。

利用のポイント：原則、年度内最大5回まで、専門家への報酬や交通費(都内)をすべて工団連が負担します。本事業の利用をきっかけに入会する企業もあるため、会員団体にとっては新規会員獲得のツールとしても機能します。

3. 「依頼試験等助成事業」

新製品開発や技術革新に不可欠な試験・分析の費用をサポートします。

支援内容：東京都立産業技術研究センター、大学その他の認定機関で依頼試験や技術支援を受ける際、その経費の3分の2(上限20万円)を助成します。年度内であれば上限に達するまで何度でも利用可能です。

対象サービス：技術相談、依頼試験、機器利用、オーダーメイド型技術支援、技術セミナーなどが幅広く対象となります。特に、東京都立産業技術研究センターとの連携は強化されており、工団連ホームページには都産技研直結の技術相談コーナーも設置されており、迅速な対応が可能です。

工団連を「もうひとつの力」として ご活用ください。

工団連では、3つの助成事業以外にも、会員団体との共催セミナーや会員企業の皆様を対象とした人材育成研修などを通じて、皆様の取組みをサポートいたします。

事務局では、具体的な計画が固まる前段階からの相談も歓迎しています。「こんな事業は対象になるだろうか?」「自社に合う専門家はいるだろうか?」「自社の技術を評価したいが、どこの試験機関が良いか?」といった疑問がございましたら、まずは工団連事務局(03-3546-2525)までお気軽にお問い合わせください。

ものづくり東京の底力と変革への挑戦

令和7年度事業実績報告(5月21日総会承認後に正式決定となります。)

令和7年度も、各会員団体、会員企業の皆様におかれましては、激動する経済環境の中でたゆまぬ努力を続けてこられたことに深く敬意を表します。工団連は、都内中小製造業の経営基盤強化と技術向上を支えるべく、各種助成事業や研修事業を精力的に展開してまいりました。本稿では、令和7年度の事業実施状況を報告するとともに、そこから見える課題等に触れます。

1. 「ものづくり基盤技術強化支援事業」

【令和7年度の実施状況】 令和7年度の実績は、8団体・12件、助成金額は5,426千円となりました。昨年度の実績(7団体・13件、6,396千円)と比較すると、件数と金額は若干減少しているものの、活用している会員団体数が1団体増加しております。一方で、利用が大田工業連合会(2件)や世田谷工業振興協会(2件)など特定の団体に固定化する傾向も見られ、より広範な活用が今後の課題として浮かび上がりました。

事業内容では、販路開拓に直結する展示会出展支援(6件)や、視察研修(5件)が引き続き中心となっています。一方で、デジタル化の波は着実に押し寄せており、ソフトウェア面での基盤強化が期待されます。会員団体が「ハブ」となり、会員企業が個社では達成しにくい情報収集やネットワーク構築を行うための原動力として、本事業の活用も期待されます。

2. 「専門家派遣事業」

【令和7年度の実施状況】 令和7年度の実績は、15件(1,486千円)となっています。昨年度(16件、1,628千円)と比較すると、件数で1件、金額で142千円の減少となりました。この減少の主な要因は、「経営・業務改善支援」の件数が減ったことにあります。

派遣目的の内訳を見ると、「経営計画策定支援」が7件と最多を占め、次いで「助成金の申請支援」が5件となっており、「経営・業務改善支援」は3件にとどまっています。この利用実績から、会員企業が「現状の改善」という受動的なフェーズから、助成金を活用した設備投資や、中長期的な経営戦略の立案といった「攻めの姿勢」へとシフトしている可能性も推察されます。

一方、本事業の副次的な効果として期待される「利用をきっかけとした新規入会」については、今年度は残念ながら該当する企業はありませんでした。昨年度は2社が本事業を通じて会員団体へ加入した実績があることから、専門家派遣をいかにして「団体の価値を知ってもらう入り口」として機能させるかが、今後の課題の一つとなります。

3. 「依頼試験等助成事業」

【令和7年度の実施状況】 令和7年度の実績は15件、金額は865千円でした。会員団体の利用状況は以下の通りです。

- 大田工業連合会：7件
- 品川産業協会：4件
- 日暮里工業会：3件
- 葛飾区産業連盟：1件

4. 「共催講演会」

ニューノーマルと先端技術、食の安全までカバー

工団連と会員団体が協力して開催する共催講演会は、会員企業の経営者や従業員に、最新の知見と刺激を提供する場となっています。

【令和7年度の実施状況】 令和7年度は、世田谷工業振興協会により4件の講演会が実施され、助成額は499千円でした。その内容は、時代性を捉えた多面的なものでした。

- ①「会員交流ミーティングにおける経営管理セミナー」(48名参加) 経営者同士の交流を深めつつ、実務的な管理手法を学ぶ場として定評があります。
- ②『ニューノーマル時代の潮流を読む!第5弾 「町工場改革、ビジネスモデルの転換」』(17名参加) 従来の下



世田谷工業振興協会との共催講演会

請け構造から脱却し、自社製品開発や新分野進出を目指す切実な課題に応えました。

③『ニューノーマル時代の潮流を読む！第5弾 「食と農をまもるには～令和の米騒動に学ぶ」』(23名参加)
製造業とは一見遠いテーマに思えますが、食料自給率やサプライチェーンの脆弱性を学ぶことは、すべての経営者に共通するリスク管理の視点を提供しました。

④新春経済講演会「逆境の中にごそ夢がある ～くまモンから半導体へ～」(85名参加) 今年度最も多い参加者を集めたこの講演は、熊本県の成功事例から、現在進行形である半導体産業の国内回帰という巨大なトレンドまでを網羅し、中小企業が取るべき未来戦略を示唆しました。

5. 研修事業

工団連と全会員団体との共催により、会員企業の人材確保・育成を支援するため、従業員等を対象に職層別の研修を実施しました。

(1) 「新入社員ビジネスマナー研修」

- 実施日：令和7年4月2日(水)、3日(木)
- 参加者：5社・22名
- 参加者満足度：大変満足72.7%、満足22.7%

(2) 「若手中堅社員リーダー育成研修」

- 実施日：令和7年11月14日(金)
- 参加者：6社・14名
- 参加者満足度：大変満足71.4%、満足28.6%

(3) 「部下育成コーチング研修」

- 実施日：令和8年2月6日(金)
- 参加者：6社・13名
- 参加者満足度：大変満足69.2% 満足30.8%

(4) TOPセミナー(経営層向けDXの基礎・生成AI活用)

- 実施日：令和8年2月3日(火)
- 参加者：6社・7名
- 参加者満足度：大変満足78.6%、満足21.4%

6. 展示会への出展

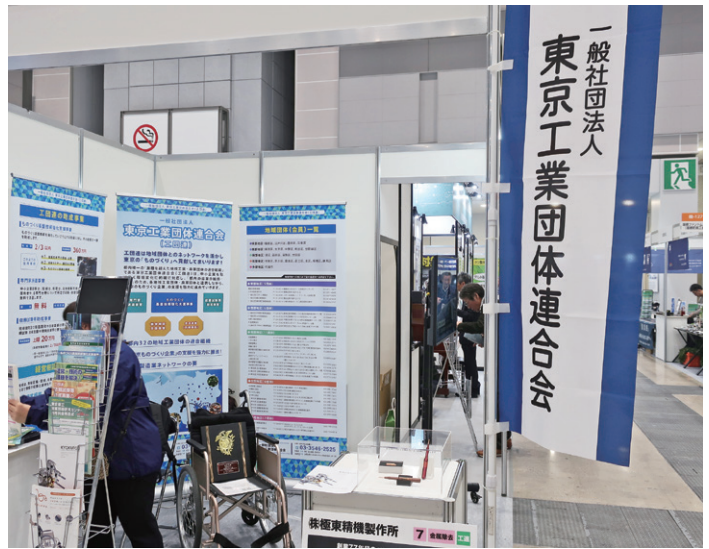
工団連展示ブースにおいて会員団体の活動を動画やパネルで紹介し、来場者に向けた積極的なPRを行いました。「たま工業交流展」では、区部と多摩地域のネットワークがよりつながるよう「広域連携」の取り組みを進めることができました。

(1) 「産業交流展2025」

- 実施日：令和7年11月26日(水)～28日(金)
- 展示内容：車いすカラーズ(有限会社関鉄工所/大田工業連合会)、FacePointer(株式会社極東精機製作所/大田工業連合会)

(2) 「第22回たま工業交流展」

- 実施日：令和8年2月19日(木)～20日(金)
- 展示内容：車いすカラーズ(有限会社関鉄工所/大田工業連合会)、西陣織宇宙服VESTRA(アマテラススペース株式会社/大田工業連合会)



産交展2025工団連ブース



第22回たま工業交流展工団連ブース

実施報告!

社会人としての第一歩を刻む

令和8年度

新入社員合同ビジネスマナー研修

新緑の候、新たな希望に燃える若者たちが社会への門を叩く季節となりました。令和8年度の研修企画第1弾として、工団連が主催し、36の地域団体が共催する「新入社員合同ビジネスマナー研修」が、4月2日(木)及び3日(金)の2日間にわたり開催されました。

本研修には、7つの会員団体、12企業から29名が参加しました。

研修の狙いは、学生からプロフェッショナルへの「意識の切り替え」でテーマは「社会人としての最低限必要な知識の習得」です。単なるマナーの形式を教えるだけでなく、学生から社会人への意識の切り替えを行い、新人としての心構えを確立させることに主眼が置かれました。ビジネスマナーの必要性を心から理解し、指示を待つだけではない「能動的な新人」へと育成することにあります。

また、東京都の助成や会員団体会費を活用することで、参加費及び昼食代が無料となっており、関係者が協働して若手人財の育成に取り組みました。

【第1日目】 自分を知り、基本を体得する

1. オリエンテーションと自己理解
2. 理想の社会人像の構築
3. ビジネスマナーの基礎と「体感型」学習



ビジネスマナー研修の様子



ビジネスマナー研修の様子

【第2日目】 実践力を高めるコミュニケーションと規律

1. 言葉遣いとビジネスコミュニケーション
2. デジタル時代のコミュニケーション：Eメールとチャット
3. 仕事の進め方とコンプライアンス

一般社団法人 令和8年度
東京工業団体連合会 一般社団法人東京工業団体連合会主催 34地域団体共催

社会人として最低限必要な知識の習得

ビジネスマナー研修

体感型のプログラムで即現場で活かせるスキルを体得

切り替え
能動的
定着化

※各地域団体名の記入にご利用ください

研修の狙い

- ・ 社会人への意識の切り替えを行い、新人としての心構えを身につける。
- ・ ビジネスマナーの必要性を理解し、能動的な新人へ育成する。
- ・ 実践的な研修内容により、ビジネスマナーの定着化を図る。

研修実施概要	プログラム																				
<p>■参加費：無料 ※東京都の助成制度を活用し、主催者が企画・運営することにより無料で受講できます。 ※昼食代：(地域団体からの会費を活用し、無料にて提供します)</p> <p>■実施日：2026年 4月2日(木)・4月3日(金) ※1日目の実施を希望ですが、2日目に参加頂くことで高い研修効果を得ることが出来ます。</p> <p>■実施時間：2日間とも 9:30～17:00(昼食開始 9:20)</p> <p>■形式：対面研修 ※状況によりオンラインへ切り替える場合もございます。</p> <p>■講師：経験豊富な講師が担当いたします。</p> <p>■対象人数：30名迄 ※定員になり次第、締め切りとなります。</p> <p>■応募締切：2026年 3月 25日(木)</p> <p>■問合せ：担当：沼田(サコウ)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">1日目</th> <th style="width: 50%;">2日目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 自己理解(強みを活かす)</td> <td>1. 言葉遣い・感じの良い話し方</td> </tr> <tr> <td>2. あなたの理想の社会人像</td> <td>2. クラウド構築</td> </tr> <tr> <td>3. ビジネスマナーとは</td> <td>2. 電話応対・Eメール</td> </tr> <tr> <td>4. ビジネスマナーの基本</td> <td>内線と外線との対応</td> </tr> <tr> <td>第一印象の重要性</td> <td>挨拶の仕方</td> </tr> <tr> <td>挨拶・立ち居振る舞い</td> <td>3. 仕事の進め方</td> </tr> <tr> <td>身だしなみ</td> <td>G-POCAサイクル</td> </tr> <tr> <td>5. 名刺交換</td> <td>名刺箱</td> </tr> <tr> <td>企業内の設備</td> <td>4. コンプライアンス</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">開催会場情報</p> <p>■会場：中小企業会館 9階 講堂 ■住所：東京都中央区銀座2-10-18 ■アクセス：東京駅より徒歩10分 「銀座一丁目駅」11出口徒歩1分 ※東京メトロ有楽町線 「銀座駅」A13出口徒歩7分</p>	1日目	2日目	1. 自己理解(強みを活かす)	1. 言葉遣い・感じの良い話し方	2. あなたの理想の社会人像	2. クラウド構築	3. ビジネスマナーとは	2. 電話応対・Eメール	4. ビジネスマナーの基本	内線と外線との対応	第一印象の重要性	挨拶の仕方	挨拶・立ち居振る舞い	3. 仕事の進め方	身だしなみ	G-POCAサイクル	5. 名刺交換	名刺箱	企業内の設備	4. コンプライアンス
1日目	2日目																				
1. 自己理解(強みを活かす)	1. 言葉遣い・感じの良い話し方																				
2. あなたの理想の社会人像	2. クラウド構築																				
3. ビジネスマナーとは	2. 電話応対・Eメール																				
4. ビジネスマナーの基本	内線と外線との対応																				
第一印象の重要性	挨拶の仕方																				
挨拶・立ち居振る舞い	3. 仕事の進め方																				
身だしなみ	G-POCAサイクル																				
5. 名刺交換	名刺箱																				
企業内の設備	4. コンプライアンス																				

参加者の声と今後の展望：

2日間の全プログラムを終えた参加者からは、高い満足度を示す回答が寄せられました。アンケート結果によると、ほぼ全員が「満足(大変満足+満足)」と回答しており、確かな成果が伺えます。

具体的な意見の一部をご紹介します。

- 「新社会人として不安なことが多く、中でもビジネスマナーの基礎を学ぶことでとても収穫の多い研修でした」
- 「挨拶、言葉遣いなどビジネスマナーを学び、少しずつ自信がついてきた」
- 「大学の授業とは違い緊張していた、グループワークで他社の人とのディスカッションは楽しかった」
- 「名刺交換や電話応対を実践的に学べ、日常の業務に直結するので今後の仕事の中で活かしたい」

- 「研修テキストを見返しながら、学んだことをこれからの仕事の基礎として活かしていきたい」

参加した29名の所属内訳を見ると、品川産業協会から9名(2社)、板橋産業連合会から6名(1社)、練馬産業連合会から4名(1社)となっており、各会員団体の積極的な協力体制が、この研修を支えています。

新入社員は会員企業各社にとって、未来を担う貴重な「人財」です。本研修で培った基礎を土台に、それぞれの現場で更なる成長と活躍を見せてくれることを期待します。

募集にご協力をいただいた各会員団体事務局の皆様、御礼申し上げます。

令和8年度工団連主催の研修計画

本年度も工団連と会員団体との共催により、会員企業の人材育成を支援するため、研修を実施します。

- 新入社員向け(本紙で既報のとおり)
年1回30名程度(例：ビジネスマナー研修)
- 若手中堅社員向け
年1回30名程度
(例：コミュニケーションスキルアップ研修)

- 指導・監督層向け
年1回30名程度(例：部下育成コーチング研修)
- 経営層向けTOPセミナー
年1回20名程度(例：DX, AI活用研修)
詳細につきましては、決定次第あらためてご案内申し上げます。
なお、本年度から会員企業の負担を軽減するため、参加費は無料とします。

令和8年度工団連行事・会議開催予定

今後の各会議の日程は以下のとおりです。ご承知おきくださいますよう、よろしくお願いいたします。

- 令和8年度第1回正副会長会議・第1回理事会
令和8年5月13日(水)
銀座プロッサム中央会館7階
正副会長会議 14時～
理事会 15時～

- 第67回通常総会
令和8年5月21日(木)15時～
銀座プロッサム中央会館7階
- 令和8年度工団連会長表彰・新年賀詞交歓会
令和9年1月21日(木)14時～
銀座プロッサム中央会館7階



理事会の様子



会長表彰式

新規入会会員のお知らせ(令和8年4月1日付)

1. 団体名：千代田区商工業連合会
 代表者名：山本 久喜 氏(会長)
 所在地：東京都千代田区神田錦町3-21
 ちよだプラットフォームスクウェア4階
 事務局：長瀬 千鶴子氏(事務局長)
 TEL 03-5244-5135 FAX 03-5244-5136

〈主な沿革〉

- 1964年4月 千代田区工業団体連合会 設立
千代田区の印刷業、製版業、製本業、軽印刷業の組合4団体と、紙器業、織組合が参加。

- 2005年3月 千代田区商工業連合会に改名

〈主な活動内容〉

千代田区内外との連携による活性化活動

- 千代田観光まちづくり実行委員会(2005年発足)
- 千代田ブランド委員会(2013年発足)
- 千代田区キャンパスコンソ(2018年包括連携)

2. 団体名：立川工業会

代表者名：生井 暢彦 氏(会長)

所在地：東京都立川市上砂町5-65-6

関前工業株式会社内

事務局：森田 哲也氏

(株式会社森田油圧機製作所)

TEL 042-531-2220 FAX 042-531-4196

〈主な沿革〉

- 昭和53年6月 立川市砂川地区工業会 設立

- 平成10年5月 立川工業会に名称変更

〈主な活動内容〉

- 先進工場等の視察
- 講演会
- たま工業交流展への出展
- その他、会員親睦・交流事業等

会員団体事務局人事異動のお知らせ

一般社団法人大田工業連合会

事務局長 吉崎彰氏から

事務局長 浜口和彦氏に(令和8年4月1日付)

一般社団法人板橋産業連合会

事務局長 真野英人氏から

事務局長 長谷川聖司氏に(令和8年4月1日付)

多摩高度化事業協同組合

事務局長 井之上正司氏(令和8年4月1日付)

吉崎彰様、真野英人様には、長きにわたり工団連の発展に多大なるご尽力を賜りました。ここに深く感謝申し上げます。今後のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

事務所移転のお知らせ(令和8年5月～)

このたび、工団連は会議室機能、来訪者対応機能等の新設を図るため、東京都中小企業会館5階から4階へ移転いたしました。なお、電話番号、FAX番号に変更はありません

今後も、より良い支援提供に努めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〈新事務所〉

〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18

東京都中小企業会館4階

電話：03-3546-2525 FAX：03-3546-2853

東京ビックサイトイベント案内(令和8年5月～7月)

※今回はものづくりに関連するイベントと情報・機器関連イベントも掲載しています。

※スケジュールは変更になる場合がございます。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止になる場合もありますので必ずHP等でご確認下さい。

東京ビックサイトイベントウェブサイト：<http://www.bigsight.jp/event/>

会期	来場区分	イベント名	主催者	問合せ先
5/13(水)～5/15(金)	商談	第2回人材不足・人手不足対策EXPO	人材不足・人手不足対策EXPO実行委員会	03-6812-9422
5/27(水)～5/29(金)	商談	第3回SPEXA-SPACE BUSINESS EXPO-	RX Japan合同会社	03-6739-4132
5/27(水)～5/29(金)	商談/一般	JECA FAIR2026～第74回電設工業展～	一般社団法人日本電設工業協会	*
7/1(水)～7/3(金)	商談	第38回ものづくりワールド[東京]	RX Japan合同会社	03-6739-4106
7/15(水)～7/17(金)	商談	TECHNO-FRONTIER 2026	一般社団法人日本能率協会	03-3434-1988
7/15(水)～7/17(金)	商談	第13回労働安全衛生展	一般社団法人日本能率協会	03-3434-1988

東京都中小企業振興公社より「ビジネスチャンス・ナビ」活用のご案内

「ビジネスチャンス・ナビ」(以下「チャンスナビ」といいます。)は、東京都中小企業振興公社が運営する、市民の入札・調達情報を一元的に集約したビジネスマッチングサイトです。ご登録やご利用は全て無料で、全国の事業者約5万4千件のご登録をいただいています。

新たな顧客や取引先を獲得すること、そして自社に合った効率的な仕入先等の確保は、中小企業にとって重要な課題となっています。

チャンスナビは、オフィスや自宅のパソコン・スマートフォンから、外注先の開拓や受注機会の情報収集ができます。新たな営業ツールとして、ぜひご活用ください。

【主な機能】

1. 電子入札サービス機能

東京都の39の外郭団体等が、様々な電子入札案件を掲載しており、チャンスナビを通じて、入札に参加することができます。年間の案件数は五千件を超え、利用団体数も増加するなど、活用の幅が広がっています。

2. 民間企業のビジネスマッチング機能

企業の業種や規模を問わず、物品の調達や新たな技術を求める際に、チャンスナビに発注案件として掲載することができます。

また、中長期的なビジネスパートナーの開拓なども案件として掲載できます。

これらの案件に対して、概算見積の提出や技術提案といった受注エントリーも可能です。

ものづくりに関する発注案件も数多く掲載されており、受注機会拡大のツールとしてご活用ください。

〈民間発注案件掲載例〉

- 外構工事の協力会社募集
- 寮の屋根に太陽光パネルを施行提案できる会社の募集
- 在庫管理システムのスマートフォンアプリ開発

このほかにも、国、東京都及び各自治体等の入札情報を一元的に閲覧したり、登録企業情報の検索・発信をしたりすることも可能です。

3. 電子契約機能

発注案件を掲載した事業者と、受注エントリーした事業者とで当サイトが提供する電子契約サービスを無料で利用することができます。電子契約は、契約書の製本や郵送などの作業、印紙税や契約書の郵送・保管費用などが不要となるため、契約業務の効率化やコストの削減につながります。

商談成立前でもご利用いただけますので、秘密保持契約の締結などにぜひご利用ください。

4. 代理店募集機能

自社商品情報を登録すると、商品のPRができるほか、ご希望の場合は販売代理店を募集することができます。(販売代理店募集中の案件は、探しやすいように、タグが付いて表示されます。)



販売網の拡大など、ビジネスチャンスが広がります。

5. おすすめ案件通知機能

多忙な中、こまめに掲載案件をチェックするのが難しいという方のために、『おすすめ案件通知機能』という便利な機能を用意しています。

あらかじめ自社に関連するキーワードや業種等を設定いただくと、該当する案件が掲載された際に、マイページ上に表示されます。さらに、メールでの通知を設定すると便利です。

【充実したフォロー体制】

発注コーディネータや全国ネットワークサポーターと呼ばれる公社の委嘱者が、発注案件の掲載からニーズに沿ったマッチング先のご紹介まで、円滑な商談をサポートします。

発注コーディネータを首都圏に13名、全国ネットワークサポーターは全国の各地方に計7名配置しており、都道府県をまたいだマッチングについても支援しています。

また、チャンスナビでのマッチング事例を「登録企業クローズアップサイト」にて紹介しています。動画で紹介している事例もありますので、あわせてご覧ください。



<https://www.tokyo-kosha.or.jp/chancenavi/>

【利用企業の声】

● 様々な課題に対して他業種を含めた幅広い企業から意見やご提案を貰えますし、(登録の段階では)匿名性も担保され、気軽にZOOM商談から始めることができますので中小企業やBtoB企業に打ってつけだと思います。

● 案件ごとに発注者の意図や思いが直接書かれている点に魅力を感じました。システムの使い方もわかりやすく、現在も利用させていただいております。独自技術で新価値を生み出したい企業、自社の優れた技術の活用方法を考えている企業に特におすすめです。

● 発注コーディネータの方からお声がけをいただいたことがきっかけで利用しました。協業先を探している企業、工事業や製造業などの企業にも相性が良いと思います。公的機関が運営しているという安心感もあり、新たな出会いをきっかけに事業を広げたい企業にはおすすめのサービスです。

◆ ユーザー登録・ログインもこちらから
<https://www.chancenavi.jp/bcn/>

◆ お問い合わせ

ビジネスチャンス・ナビ運営事務局
電話：0570-009-777

メール：sme-webmaster@chancenavi.jp

◆ 東京都中小企業振興公社の事業はこちら
<https://www.tokyo-kosha.or.jp/>



スキルアップ助成金のご案内

従業員のスキルアップのための研修を実施する都内中小企業等に対し、助成金を支給します。研修内容や実施方法に応じた3つの助成金を利用することができます。

最大
250万円
助成

交付申請書受付期間：令和9年2月28日まで
(申請書提出期限：研修開始予定日の1か月前まで)



	事業内スキルアップ助成金	事業外スキルアップ助成金	DXリスクリング助成金
研修内容	職務のスキルアップのために自社で企画した研修	職務のスキルアップのために公開研修を利用して実施する研修	自社のDX推進のために実施する研修
実施形式	自社内で実施 集合研修(オンライン利用可)	教育機関が実施 集合研修(オンライン利用可)またはeラーニング	
助成額・助成率	助成対象受講者1人1時間あたり 800円	助成対象経費の2分の1 (上限25,000円/1人1研修) ※非正規雇用労働者が助成対象受講者全体の2割以上を占める場合または小規模企業者の場合は受講料等の3分の2	助成対象経費の4分の3 (上限75,000円/1人1研修)
上限額	事業内・事業外スキルアップ助成金を合計して 150万円/社・年度		100万円/社・年度
研修時間	3時間以上10時間未満/1研修あたり		

集合研修とは…
受講者が所定の時間に一言に受講する研修のこと

詳細は東京しごと財団HPをご覧ください。

公益財団法人東京しごと財団 企業支援部 企業支援課「スキルアップ助成金事務局」

TEL: 03-5211-0391

平日9時～17時
(平日12時～13時、土日・祝日、年末年始を除く)



令和8年度

団体連携型DX人材育成推進事業

東京都中小企業団体中央会では、東京都の補助金事業である団体連携型DX人材育成推進事業を実施しています。本事業は、団体等が行うDX人材の育成に関する講習会に対し、対象経費の一部を助成する事業です。

講習会1回あたり **最大25万円**
100万円を上限で助成

助成率/助成対象経費の3分の2以内(千円未満切り捨て)

東京都中小企業団体中央会
<https://www.tokyochuokai.or.jp>

事業の内容

助成金額 講習会1回あたり25万円
(上限100万円)

助成率 対象経費の3分の2以内
(千円未満切り捨て)

対象経費 講師謝金、資料費、印刷費、郵送費、会場借上げ費

実施時期 令和8年4月1日から
令和9年2月20日まで

お申し込み・お問い合わせ先

東京都中小企業団体中央会 労働課

電話 03-3542-0388(直通)

FAX 03-3545-2190

〒104-0061 東京都中央区銀座二丁目10番18号 東京都中小企業会館内

要綱・要領や申請書様式は
ホームページからダウンロードできます。

<https://www.tokyochuokai.or.jp/sienseido/jyoseijigyuu/dxzinzai.html>

